

ちびっこ チャンピオン

「みんなで ヨイショ!」

きらら保育園のなかよしたち

(左から)

なかむら し ゆ うくん (5さい)
あきもとの おさん (6さい)
かわむら そ らくん (5さい)
くどう はる かさん (5さい)
ふじた みお りさん (5さい)
こん てん まくん (6さい)
かわぐち ゆ めさん (6さい)

このコーナーでは、元気いっぱいな園児達の作品をご紹介します。



深浦町の花



福寿草

深浦町の木



樺

深浦町の鳥



カモメ



このコーナーでは、お誕生日を迎えた子ピッコ達をご紹介します



せなと
藤田 瀬叶くん
(柳田) H30/8/17生

「我が家のめんちよこ🍀🍀🍀」



しゅんすけ
柳沢 俊介くん
(関) R2/9/17生

「1歳おめでとう♥」

草創教育長の

「今月の一枚」

今どきの英語

知人から「喫茶店に飾るエキゾチックな絵を」と依頼されたパリの絵です。奥の尖塔はサクレクル寺院。

初めてパリを訪れたのは新婚旅行です。(と言っても二回しか行ったことありませんが) 私が外国人と英語で話したのもその時が初めて。

市内でタクシーを拾ったら「Where are you going?」とされたので、「おっ、それぐらいはわかる」と気をよくして「Opera house, please!」と返したら、これまた通じました!

車に乗り込み、妻の手前カッコつけなきゃ、と調子に乗った私。「May I smoke?」と聞いたら、運転手は人なつこい笑顔で「Oh, no problem.」通じた、カッコいい、オトナの会話だ、と有頂天の私。妻の尊敬のまなざし。(笑)

私のような年代には、片言の英語でもガイジンさんと通じ合えたのが望外の喜びでした。

第一、私が小さい頃は、周囲にガイジンさんなんか全くいません。たまにテレビで見られるくらい。昔のジャイゴワラシには、ガイジンさんと英語で話す必要性も現実味も全くなかったのです。

中学、高校で習う英語も、「話す力・聞く力」よりは完全に「読む力・書く力」が重視さ

れた時代です。コミュニケーションは二の次でした。私も英訳・和訳作業は大好きでしたが、英会話を楽しみたいとか海外で仕事したいとまでは望みませんでした。

時代は変わりました。今は、小学3年生から英語の授業が始まっています。その下の学年や幼稚園・保育園等での活動も可能です。外国籍のALT(外国語指導助手)が二人、日常的に授業に関わっています。

今どきの子どもたちには、生のガイジンさんも英語もすぐ手の届く所にあるのです。そして生の発音を聞きながら、英語でコミュニケーションをとる素地を身につけます。

将来の職業に直結するかどうかは関係ありません。大きさに言えば、異国の言葉や文化に触れることを通して、自分とは異なる考え方や存在への寛容な態度を育てることに大きなねらいがあります。

特に日本人は(深浦人も)「異質」への攻撃性が強く、同調圧力も根深い。英語学習を通して、ちょっと外れた考え方も、パリの運転手のように「Oh, no problem.」と微笑むことができる子どもに育ってほしいと願っています。(教育長 草創 文人)

